

衛研第3 - 50号  
平成29年 3月15日

感染症発生動向調査事業  
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。  
なお、今週は下記の内容を含んでいます。

記

1. 今週の県内情報
2. インフルエンザ流行情報
3. 今週の注目される定点把握対象疾患の推移（グラフ）
4. 今週の全数把握対象疾患の報告数、累計
5. 結核の届出状況（月報）
6. 今週の定点把握対象疾患の報告患者数、定点当たり報告数
7. 全国及び関東情報
8. 今週の流行状況

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当  
電話 0493 - 59 - 9325  
FAX 0493 - 59 - 9613  
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp



## 感染症患者発生情報（週報）

## 埼玉県内情報 平成 29 年 第 10 週（平成 29 年 3 月 6 日～平成 29 年 3 月 12 日）

## 今週の注目される疾患

図は次ページ以降に掲載

全数把握対象疾患では、一類、二類（結核を除く）及び三類感染症の届出はなかった。四類感染症は、E 型肝炎 1 人の届出があった。五類感染症は、アメーバ赤痢 2 人、急性脳炎 1 人、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 人、後天性免疫不全症候群 1 人、侵襲性肺炎球菌感染症 3 人、水痘（入院例）2 人、梅毒 7 人の届出があった。

定点把握対象疾患では、**インフルエンザ**(15.62 12.37：図 1)の定点当たり報告数は第 5 週(1 月 30 日～2 月 5 日)以降減少を続けているが、今しばらく注意が必要である。保健所別では、狭山(18.50)、幸手(18.00)、鴻巣(17.58)保健所管内からの報告が多い。**A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**(2.90 2.91：図 2)の定点当たり報告数は、前週と同水準に留まった。保健所別では、熊谷(7.56)、春日部(7.00)保健所管内で報告数の多い状態が続いている。**感染性胃腸炎**(5.99 6.63)の定点当たり報告数は、前週よりわずかに増加した。保健所別では、川口(12.73)、さいたま市(10.04)、熊谷(9.56)保健所管内からの報告が多い。**流行性耳下腺炎**(0.48 0.51)の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。保健所別では、朝霞(1.00)、さいたま市(0.89)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告対象疾患では、**急性出血性結膜炎** 3 人、**流行性角結膜炎** 23 人(前週 17 人)の報告があった。基幹定点報告対象疾患では、**マイコプラズマ肺炎** 3 人、**感染性胃腸炎(ロタウイルス)** 5 人、**インフルエンザ(入院)** 11 人(前週 7 人)の報告があった。

## &lt;全数把握対象疾患の患者情報&gt;

一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし（結核を除く）
三類感染症	報告なし
四類感染症	E 型肝炎 1 人（推定感染地域 国内）
五類感染症	アメーバ赤痢 2 人（腸管及び腸管外アメーバ症 1 人、 腸管外アメーバ症 1 人）
	急性脳炎 1 人（病原体 不明）
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 人（血清群 B 群）
	後天性免疫不全症候群 1 人（病型 その他）
	侵襲性肺炎球菌感染症 3 人
	水痘（入院例） 2 人（病型 検査診断例 2 人）
	梅毒 7 人（病型 早期顕症 期 3 人、早期顕症 期 2 人、 無症状病原体保有者 2 人）

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: [p5349952@pref.saitama.lg.jp](mailto:p5349952@pref.saitama.lg.jp) URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

## インフルエンザ流行情報

今週のインフルエンザの定点当たり報告数は、減少傾向(15.62 12.37)にあるが、今しばらくは注意が必要である(図1)。

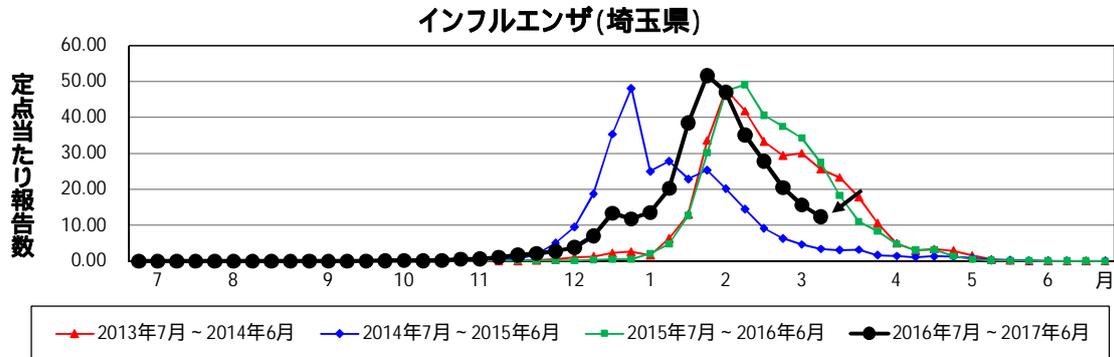


図1 インフルエンザ 定点当たり報告数の推移(2013年7月～)

第7週(2月13日～2月19日)以降の4週間に、13保健所管内の病原体定点で採取された検体からのインフルエンザウイルスの検出数は83件で、A香港型(AH3)が57件(68.7%)、B型ビクトリア系統が14件(16.9%)、B型山形系統が11件(13.3%)であった(表1)。

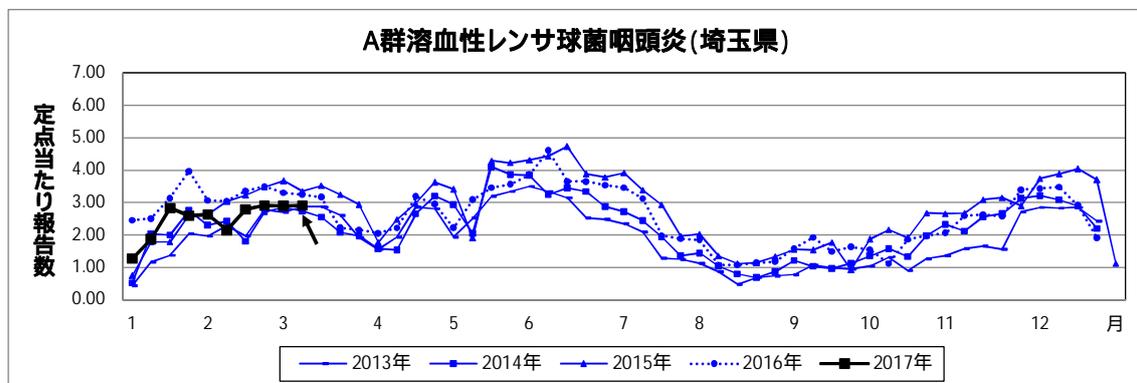
表1. 第7～10週に採取された検体からのインフルエンザウイルス検出数

型	7w	8w	9w	10w	4週の合計
AH1pdm09	-	-	1	-	1
AH3	21	17	16	3	57
Bビクトリア系統	3	5	5	1	14
B山形系統	4	5	2	-	11

(-:0)

## <今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第10週)

(2017年3月14日 15:00集計)

	今週 届出	累 計	2016年 累計		今週 届出	累 計	2016年 累計
<b>一類感染症</b>							
エボラ出血熱				ペスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
<b>二類感染症</b>							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*	-	-	1383	鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
<b>三類感染症</b>							
コレラ				腸チフス			2
細菌性赤痢		1	11	パラチフス			
腸管出血性大腸菌感染症		7	174				
<b>四類感染症</b>							
E型肝炎	1	4	15	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)			
A型肝炎		1	6	ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱			
黄熱				日本脳炎			
オウム病				ハンタウイルス肺症候群			
オムスク出血熱				Bウイルス病			
回帰熱				鼻疽			
キャサヌル森林病				ブルセラ症			
Q熱				ベネズエラウマ脳炎			
狂犬病				ヘンドラウイルス感染症			
コクシジオイデス症				発しんチフス			
サル痘				ボツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア			
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱			1	レジオネラ症		10	89
つつが虫病			1	レプトスピラ症		1	
デング熱		3	13	ロッキー山紅斑熱			
<b>五類感染症</b>							
アメーバ赤痢	2	15	44	侵襲性肺炎球菌感染症	3	37	108
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		1	7	水痘*	2	5	9
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		6	51	先天性風しん症候群			
急性脳炎	1	10	38	梅毒	7	34	191
クリプトスポリジウム症				播種性クリプトコックス症			8
クロイツフェルト・ヤコブ病			5	破傷風			4
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	6	21	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
後天性免疫不全症候群	1	5	40	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		4	9
ジアルジア症			1	風しん		2	4
侵襲性インフルエンザ菌感染症		2	9	麻しん		1	8
侵襲性髄膜炎菌感染症			2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		2	7
指定感染症	該当疾患は無し						

水痘\*：患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他	累計
					1

累計は診断日で集計  
2016年累計は暫定値です。  
\*結核は月単位で集計、別に掲載します。

## 結核届出状況(2月分)

2月の届出数は、患者69人、疑似症患者1人、無症状病原体保有者27人の計97人で、前月と同数であり、前年同月の114人より少なかった。

表1 診断月別の届出数の推移(2016年2月～2017年2月)

	2016年*											2017年		
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	累計**
<b>総計</b>	114	107	102	106	126	127	129	132	119	81	110	97	97	194
<b>年齢階級</b>														
10歳未満	2	1	1	3	5	3	2	7	3	1	4	0	2	2
10歳代	5	0	1	2	2	1	3	1	2	1	0	1	1	2
20歳代	12	8	17	16	13	19	11	7	11	9	9	7	7	14
30歳代	8	9	8	6	8	9	14	14	7	7	10	12	4	16
40歳代	22	15	7	9	13	14	17	10	10	10	13	5	14	19
50歳代	8	7	10	10	14	14	13	24	19	13	16	7	6	13
60歳代	16	16	10	19	17	16	20	20	17	9	18	24	20	44
70歳代	15	26	25	19	20	14	25	19	27	11	20	19	14	33
80歳以上	26	25	23	22	34	37	24	30	23	20	20	22	29	51
<b>性</b>														
男	70	67	59	59	81	75	72	81	72	45	76	68	56	124
女	44	40	43	47	45	52	57	51	47	36	34	29	41	70
<b>類型</b>														
患者	77	73	83	72	89	88	92	100	74	55	64	72	69	141
感染症死亡者の死体	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
感染症死亡疑い者の死体	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
疑似症患者	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	3	1	1	2
無症状病原体保有者	37	34	17	32	36	38	37	32	44	26	43	24	27	51
<b>病型</b>														
肺結核	58	51	61	55	60	73	74	75	56	38	50	54	52	106
肺結核及びその他の結核	7	7	6	4	4	3	2	5	5	3	2	5	4	9
その他の結核	12	15	16	14	26	12	16	20	14	14	12	13	13	26
疑似症患者	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	3	1	1	2
無症状病原体保有者	37	34	17	32	36	38	37	32	44	26	43	24	27	51

\*:2016年の届出数は暫定値

\*\*:2017年1月からの累積届出数

2月に診断された97人を病型別にみると、肺結核では60歳以上が38人で73.1%を占めた。無症状病原体保有者では全年齢階級から届出があった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2017年2月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
<b>総計</b>	52	4	13	1	27	97
<b>年齢階級</b>						
10歳未満	0	0	0	0	2	2
10歳代	0	0	0	0	1	1
20歳代	3	0	0	0	4	7
30歳代	2	0	0	0	2	4
40歳代	6	1	2	0	5	14
50歳代	3	0	1	0	2	6
60歳代	12	1	2	0	5	20
70歳代	7	1	1	0	5	14
80歳以上	19	1	7	1	1	29

保健所	報告患者数										保健所別										平成29年3月6日～平成29年3月12日									
	インフルエンザ # 1	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 # 2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎 # 3	クラミジア肺炎 # 3	感(口)染性胃腸炎(ウイルス)	イン(入)フルエンザ									
全	3,129	20	30	466	1,061	81	9	6	57	-	4	81	3	23	-	-	-	3	-	5	11									
川	12.37	0.13	0.19	2.91	6.63	0.51	0.06	0.04	0.36	-	0.03	0.51	0.08	0.58	-	-	-	0.30	-	0.50	1.10									
川	238	3	3	50	191	14	-	-	7	-	-	5	-	8	-	-	-	*	-	*	*									
朝	264	2	3	37	98	11	-	5	5	-	-	14	-	1	-	-	-	-	-	-	-									
朝	12.00	0.14	0.21	2.64	7.00	0.79	-	0.36	0.36	-	-	1.00	-	0.25	-	-	-	*	-	-	-									
鴻	334	-	4	35	61	12	-	-	3	-	-	8	-	-	-	-	-	*	-	-	-									
鴻	17.58	-	0.33	2.92	5.08	1.00	-	-	0.25	-	-	0.67	-	-	-	-	-	*	-	-	-									
東	91	-	-	8	12	-	4	-	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1									
東	11.38	-	-	1.60	2.40	-	0.80	-	0.40	-	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00									
秩	27	-	1	5	6	-	-	-	1	-	-	-	-	*	-	-	-	-	-	-	-									
秩	5.40	-	0.33	1.67	2.00	-	-	-	0.33	-	-	-	-	*	-	-	-	-	-	-	-									
本	74	-	-	3	15	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-									
本	10.57	-	-	0.75	3.75	0.25	-	-	-	-	-	-	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-									
熊	183	1	-	68	86	3	-	-	3	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	2									
熊	13.07	0.11	-	7.56	9.56	0.33	-	-	0.33	-	-	0.33	-	0.50	-	-	-	-	-	-	2.00									
加	90	-	1	5	1	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	*	-	-	*									
加	9.00	-	0.17	0.83	0.17	0.50	-	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	*	-	-	*									
春	77	-	4	42	22	2	-	-	4	-	-	2	-	2	-	-	-	*	-	-	*									
春	7.70	-	0.67	7.00	3.67	0.33	-	-	0.67	-	-	2.00	-	2.00	-	-	-	*	-	-	*									
幸	252	2	2	18	45	5	-	-	1	-	3	3	-	-	-	-	-	2	-	-	2									
幸	18.00	0.22	0.22	2.00	5.00	0.56	-	-	0.11	-	0.33	0.33	-	-	-	-	-	2.00	-	-	2.00									
坂	116	-	-	4	46	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2									
坂	11.60	-	-	0.67	7.67	0.50	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	2.00									
草	255	1	1	32	67	6	-	1	2	-	4	4	-	-	-	-	-	*	-	-	*									
草	15.00	0.09	0.09	2.91	6.09	0.55	-	0.09	0.18	-	0.36	0.36	-	-	-	-	-	*	-	-	*									
狭	481	4	4	29	84	1	-	-	8	-	11	1	2	2	-	-	-	-	-	-	2									
狭	18.50	0.24	0.24	1.71	4.94	0.06	-	-	0.47	-	0.65	0.20	0.40	0.40	-	-	-	-	-	-	2.00									
川	136	-	1	29	35	4	-	-	3	-	1	5	-	1	-	-	-	*	-	-	*									
川	10.46	-	0.13	3.63	4.38	0.50	-	-	0.38	-	0.13	0.63	-	0.50	-	-	-	*	-	-	*									
越	158	4	2	24	21	1	3	-	5	-	2	1	-	-	-	-	-	1	-	-	2									
越	12.15	0.50	0.25	3.00	2.63	0.13	0.38	-	0.63	-	0.25	0.13	-	-	-	-	-	1.00	-	-	2.00									
さい	363	3	4	77	271	15	2	-	13	-	24	2	5	-	-	-	-	-	-	-	3									
さい	8.61	0.11	0.15	2.85	10.04	0.56	0.07	-	0.48	-	0.89	0.25	0.63	-	-	-	-	-	-	-	3.00									

( - : 0.00 ) # 1 鳥インフルエンザを除く # 2 真菌性を含む # 3 オウム病を除く

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第10週 平成29年3月6日～平成29年3月12日)

	合計	-6ヵ月	7	22	112	131	138	186	220	239	232	207	216	595	118	105	162	175	91	78	59	36
インフルエンザ #1	合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~	
RSウイルス感染症	20	5	7	4	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	30	-	2	4	11	4	-	3	3	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	466	-	1	12	14	33	62	57	62	57	42	25	63	4	34							
感染性胃腸炎	1,061	6	38	116	93	111	134	116	81	82	50	42	101	12	79							
水痘	81	-	1	3	2	5	10	18	9	10	12	5	6	-	-							
手足口病	9	-	-	5	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
伝染性紅斑	6	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	3	-	-							
突発性発しん	57	-	18	35	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
ヘルパンギーナ	4	-	-	1	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-							
流行性耳下腺炎	81	-	-	3	4	8	6	11	10	9	7	11	9	-	3							
合計	3,129	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~	
急性出血性結膜炎	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	23	1	1	-	1	-	2	2	1	1	-	-	-	-	3	3	4	2	2	-	-	-
合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~						
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	3	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	5	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	11	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	5	-

表中の数値は各定点からの報告数( - : 0 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報 第 8 週

( 2月20日～2月26日 )

平成29年3月15日

インフルエンザの定点当たり報告数は第5週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は福井県(26.34)、長野県(26.11)、長崎県(25.13)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は870例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(32例)、1～9歳(135例)、10代(28例)、20代(10例)、30代(10例)、40代(13例)、50代(32例)、60代(83例)、70代(134例)、80歳以上(393例)であった。

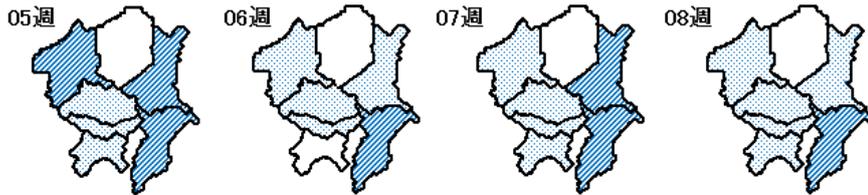
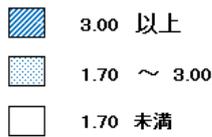
RSウイルス感染症の報告数は674例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約74%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は石川県(1.07)、宮崎県(0.75)、佐賀県(0.74)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は山形県(5.67)、鳥取県(5.32)、北海道(4.56)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は大分県(14.00)、宮崎県(9.50)、福岡県(9.22)である。水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は佐賀県(0.91)、鳥取県(0.79)、山形県(0.73)である。手足口病の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県(0.89)、秋田県(0.57)、熊本県(0.46)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県(0.42)、鳥取県(0.32)、島根県(0.30)、愛媛県(0.30)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は和歌山県(2.81)、愛媛県(2.51)、山口県(2.42)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は第3週以降減少が続いている。都道府県別の上位2位は石川県(0.80)、大阪府(0.76)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は3週連続で増加した。29都道府県から119例報告があり、年齢別では0歳(21例)、1～4歳(71例)、5～9歳(21例)、10代(6例)であった。

## <関東情報>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、千葉県(3.73)からの報告が多い。

### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



平成29年 08週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数 83,714 定点当たり 16.87	25,544 16.81	2,033 16.94	1,406 18.50	1,391 14.64	5,201 20.48	3,857 17.94	6,495 15.65	5,161 14.96
RSウイルス感染症	報告数 674 定点当たり 0.21	90 0.09	4 0.05	5 0.10	7 0.12	22 0.14	11 0.08	26 0.10	15 0.07
咽頭結膜熱	報告数 1,156 定点当たり 0.37	180 0.19	23 0.31	9 0.19	16 0.28	36 0.22	27 0.20	47 0.18	22 0.10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 7,773 定点当たり 2.46	2,306 2.42	215 2.87	69 1.44	152 2.62	469 2.91	503 3.73	519 1.99	379 1.75
感染性胃腸炎	報告数 16,771 定点当たり 5.30	5,358 5.62	318 4.24	119 2.48	339 5.84	862 5.35	724 5.36	1,737 6.66	1,259 5.83
水痘	報告数 1,032 定点当たり 0.33	382 0.40	18 0.24	15 0.31	16 0.28	69 0.43	52 0.39	113 0.43	99 0.46
手足口病	報告数 397 定点当たり 0.13	53 0.06	6 0.08	-	11 0.19	7 0.04	1 0.01	19 0.07	9 0.04
伝染性紅斑	報告数 224 定点当たり 0.07	54 0.06	-	3 0.06	4 0.07	9 0.06	9 0.07	16 0.06	13 0.06
突発性発しん	報告数 1,243 定点当たり 0.39	391 0.41	23 0.31	27 0.56	24 0.41	60 0.37	56 0.41	120 0.46	81 0.38
百日咳	報告数 23 定点当たり 0.01	9 0.01	1 0.01	-	-	3 0.02	-	2 0.01	3 0.01
ヘルパンギーナ	報告数 56 定点当たり 0.02	7 0.01	-	1 0.02	1 0.02	1 0.01	-	3 0.01	1 0.00
流行性耳下腺炎	報告数 1,979 定点当たり 0.63	337 0.35	32 0.43	5 0.10	36 0.62	82 0.51	23 0.17	58 0.22	101 0.47
急性出血性結膜炎	報告数 6 定点当たり 0.01	1 -	-	-	-	1 0.02	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数 303 定点当たり 0.44	132 0.64	12 0.71	8 0.67	8 0.57	11 0.27	22 0.65	5 0.14	66 1.32
細菌性髄膜炎 #2	報告数 6 定点当たり 0.01	1 0.01	-	-	-	-	-	1 0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数 16 定点当たり 0.03	4 0.05	-	-	-	2 0.20	2 0.22	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数 176 定点当たり 0.37	32 0.39	3 0.23	4 0.57	5 0.63	5 0.50	5 0.56	6 0.24	4 0.36
クラミジア肺炎 #3	報告数 4 定点当たり 0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数 119 定点当たり 0.25	42 0.51	5 0.38	1 0.14	4 0.50	1 0.10	-	14 0.56	17 1.55

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

感染症発生動向調査 2017年

- [感染症の流行状況 2017年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第9週](#)

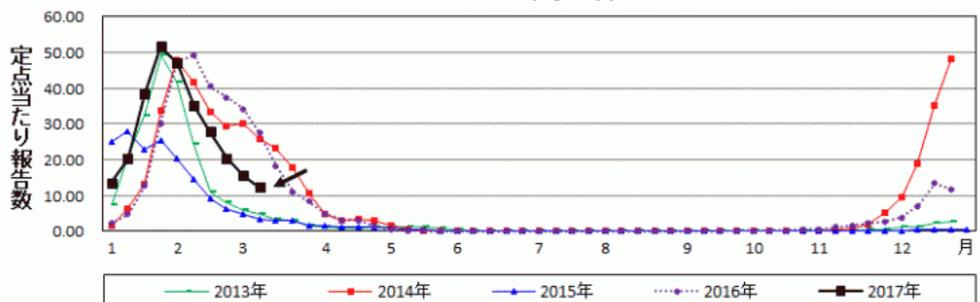
感染症の流行状況 2017年 第10週

2017年第10週（平成29年3月6日～3月12日）の要点 平成29年3月15日

インフルエンザの定点当たり報告数は、前週に引き続き減少しましたが、今しばらく注意が必要です。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹に関する情報の掲載ページへ](#)
- [風しんに関する情報の掲載ページへ](#)

インフルエンザ(埼玉県)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	↓	★★★	<a href="#">伝染性紅斑(りんご病)</a>	→	★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	→	★	<a href="#">突発性発しん</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱(プール熱)</a>	→	★	<a href="#">百日咳</a>	→	★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	→	★★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	→	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	↑	★★	<a href="#">流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)</a>	→	★★
<a href="#">水痘(みずぼうそう)</a>	→	★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	→	★
<a href="#">手足口病</a>	→	★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	↑	★

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。\*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) \*3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン